

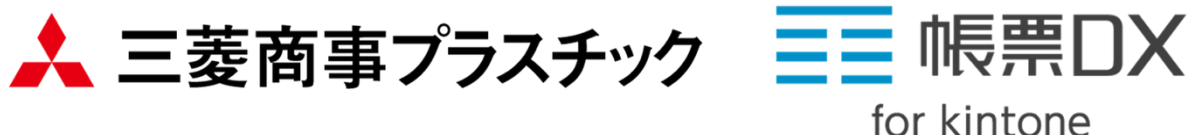
2026 年 5 月 15 日

株式会社オプロ

三菱商事プラスチック、「帳票 DX for kintone」を導入 — 帳票業務の属人化を解消、kintone 活用で業務標準化を推進 —

株式会社オプロ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：里見 一典、以下「オプロ」）は、三菱商事プラスチック株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：早澤 幸雄、以下「三菱商事プラスチック」）において、帳票出力 DX サービス「帳票 DX for kintone」が採用されたことをお知らせいたします。

三菱商事プラスチックは kintone を活用した受発注業務のデジタル化を推進する中で、帳票出力基盤として「帳票 DX for kintone」の採用を決定しました。kintone との連携により帳票作成業務を自動化し、属人化の解消と持続的なオペレーション体制の構築を推進します。



導入の背景

三菱商事プラスチックでは、基幹システムでカバーしきれない発注管理や、発注書・見積書をはじめとした帳票業務を、担当者が Excel にて個別に作成・管理していました。フォーマットや管理方法が担当者ごとに異なるため、修正履歴の把握や最新版の管理が煩雑になるなど、業務の属人化が課題となっていました。

また、担当者の異動や急な休み等の際には業務引き継ぎに時間を要するなど、柔軟な働き方の実現にも課題を抱えていました。

こうした背景から、基幹システムのフロント領域に kintone を配置して受発注業務の統合を推進するとともに、その帳票出力基盤として「帳票 DX for kintone」の導入に至りました。

「帳票 DX for kintone」採用による期待効果

「帳票 DX for kintone」の導入により、以下の効果が期待されます。

業務の標準化

帳票業務の属人化を解消し、kintone と連携した統一フォーマットでの帳票出力により、誰でも同じ品質で対応できる体制を構築します。

オペレーションリスクの低減

kintone で管理された受発注データをもとに帳票を直接出力することで、手作業による転記ミスや確認漏れを防止し、業務品質の安定化を図ります。

帳票作成業務の効率化

これまで担当者が個別に対応していた帳票作成を、kintone に蓄積されたデータと「帳票 DX for kintone」の連携により自動化することで、業務負担の軽減と処理効率の向上を図ります。

今後の展望

三菱商事プラスチックでは、検証を経て「帳票 DX for kintone」の全社導入を決定し、現在は全社業務基盤としての定着を推進しています。

オプロは今後も、kintone を活用した帳票業務の DX を通じて、企業の業務効率化と持続的なオペレーション基盤の構築を支援してまいります。

帳票 DX for kintone について

「帳票 DX for kintone」は、kintone 上のデータをもとに、各種帳票を柔軟に出力できるクラウド帳票サービスです。

OCR との連携や多様な帳票レイアウトに対応し、専門的な知識を必要とせず、帳票業務の効率化と品質向上を実現します。

サービスサイト URL : <https://www.opro.net/service/formdx/kintone/>

株式会社オプロ

オプロは「make IT simple」のミッションのもと、お客様の新たなビジネスや価値の創出を支援します。「Less is More」を開発指針とし、データオプティマイズソリューション・セールスマネジメントソリューションを通して最適なサービスを提供しております。そして、真の顧客サクセスを実現すべく、サービスを更に進化させてまいります。

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社オプロ（東京都中央区京橋 2-14-1 兼松ビルディング 9F）

お問い合わせ先 : <https://corp.opro.net/contact/media.html>（広報チーム）